

第5回(仮称)秦野SAスマートIC 地区協議会 説明資料(抜粋)

令和5年11月29日

利用状況について

① 秦野丹沢スマートICの交通量

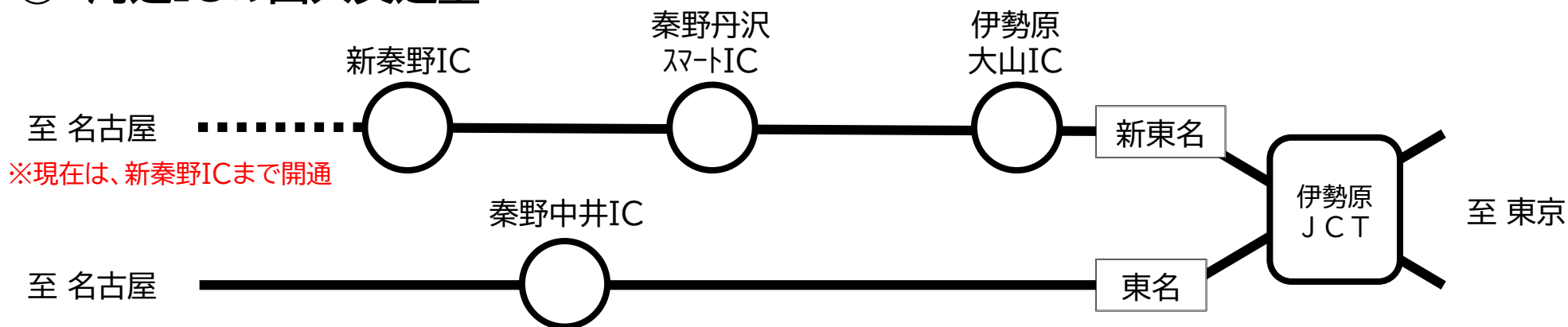


路線	I C名	スマートIC整備		【参考】スマートIC未整備	計画交通量との差
		計画交通量	実交通量(R5. 3)		
新東名高速道路	伊勢原大山	6,300台/日	6,300台/日	5,800台/日	±0台/日
	秦野丹沢スマート	4,400台/日	4,200台/日	—	−200台/日
	新秦野	3,200台/日	3,800台/日	4,300台/日	+600台/日
合計		13,900台/日	14,300台/日	10,100台/日	+400台/日

【参考：R12年推計(計画交通量)】
整備前後におけるスマートICとその前後のICの出入交通量

利用状況について

② 周辺ICの出入交通量



路線	I C名	整備前※1 (令和3年度)	整備後※2 (令和4年度)	増減
新東名高速道路	伊勢原大山	4,300台/日	5,700台/日	+1,400台/日
	秦野丹沢スマート	— (R4.4.16開通)	3,600台/日	+3,600台/日
	新秦野	— (R4.4.16開通)	3,400台/日	+3,400台/日
東名高速道路	秦野中井	15,800台/日	13,200台/日	-2,600台/日
合計		20,100台/日	25,900台/日	+5,800台/日

※1 集計期間は令和3年4月～令和4年3月

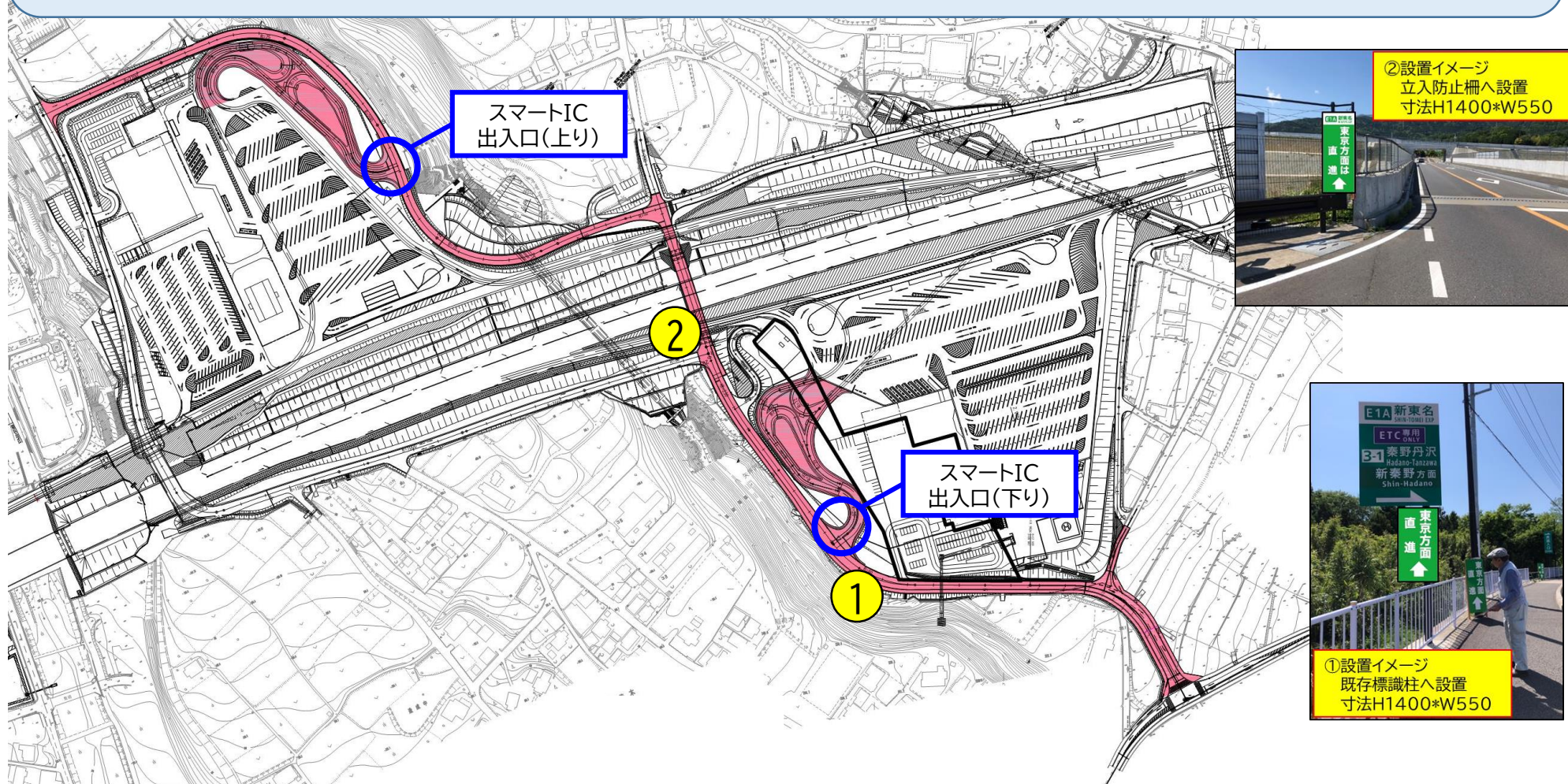
※2 集計期間は令和4年4月～令和5年3月

データ提供: NEXCO中日本(株)東京支社
(※交通量は百台単位で四捨五入)

安全性、管理・運営形態について

- ・当該スマートIC周辺道路について、事故発生件数は増えていない。
- ・市街地案内標識は設置しているが、誤進入が約8件／日発生している。(R5年1～3月平均)※
⇒対策としてスマートIC出入口付近への案内標識の追加予定

※出典：NEXCO中日本(株)東京支社データ



利用促進方策について

■ 本市の取り組み

▼ 開通記念イベント ラン&ウォーク(R4.3.20)開催

NEXCO中日本協力のもと、開通前の本線を利用しイベントを開催し、約2,400名の参加がありました。(本線への出入りは秦野丹沢スマートIC上下線を利用。) また、ノベルティとしてNEXCO中日本と地元企業である(株)不二家がコラボレーションした特別パッケージの「カントリーマアム」などを参加者に配布し、スマートICの認知度向上を図りました。

開催案内チラシ

当日の様子



▼ 表丹沢魅力づくり構想(R2.9策定)

表丹沢の裾野に設置されたスマートIC周辺に点在する農林業、観光、歴史、文化、スポーツといった様々な地域資源をいかしたまちづくりをめざし、「表丹沢魅力づくり構想」を策定しました。

表丹沢エリアの楽しみ方を発信する表丹沢総合ホームページの開設や『OMOTAN』ロゴマークの作成のほか、スマートIC近隣では、本市の森林資源を最大限に生かすための施設を主軸に、市民や観光客に表丹沢の魅力発信する誘客施設の整備を予定しています。

表丹沢総合ホームページ『OMOTAN』

表丹沢ロゴマーク



表丹沢の観光スポットをはじめ、遊び・体験、グルメ・お土産、モデルコースなどの情報を得ることができます。



▼ スマートIC周辺のまちづくり

市では、令和9年度に新東名(新秦野IC以西)の開通を見据え、スマートICと市街地とのアクセス性を高める都市計画道路「菩提横野線」の整備に着手しています。

また、スマートIC隣接の戸川地区に企業誘致することで、地域の活性化、産業の活性化につながることを期待されることから、土地区画整理事業により新たに公共施設の整備・改善を図るとともに既存住宅等の地域環境との調和も考慮した中で、産業系土地利用の実現に向けた取り組みを進めています。



◀ 市HPでのルート案内

開通直後、スマートICへのルートがカーナビ等に反映されていないことから、本市HPを活用し、道順を示した画像を掲載しました。



◀ PRブース出店

国土交通省及びNEXCO中日本協力のもと、市主催イベントにおいて、新東名等の高規格道路のPRブースを出展し、来場者へ新東名とともにスマートICの利用状況などを周知しました。(写真はR5.11.3市民の日の様子)



■ 今後も市広報紙への掲載、イベントにおけるPR、案内標識の充実などに取り組む。